

野田市老人ホーム及び老人デイサービスセンター
指定管理者候補者選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成30年2月14日（水）午前10時30分から午前11時30分まで
開催場所 野田市役所5階 512会議室
出席委員 副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、行政管理課長、
管財課長、保健福祉部次長兼介護保険課長、保健福祉部次長兼高齢者支
援課長
欠席委員 無し
事務局 高齢者支援課、行政管理課

1 開会

<委員長より開会の言葉>

2 議事

① 複合老人ホーム野田市楽寿園

平成29年度（4月～12月）複合老人ホーム野田市楽寿園業務報告書及び平成
30年度複合老人ホーム野田市楽寿園業務計画書の審査について

<事務局より平成29年度（4月～12月）複合老人ホーム野田市楽寿園業務報告
書及び平成30年度複合老人ホーム野田市楽寿園業務計画書について一括して
説明>

<審議の概要>

○業務報告書1ページ項番4①の適切な衛生管理のための方策について、感染症予
防対策として、職員に対するインフルエンザワクチン接種の有無や出勤時の体調
確認等の取組内容は何か。

→職員はインフルエンザが流行する前、例年11月下旬頃にワクチンを接種してい
る。出勤時の体調確認等を行っていないが、発熱等での体調不調の場合は、出勤
せず病院の受診を勧めている。

○職員に対するインフルエンザワクチン接種の費用は、法人が負担しているのか、
または自費負担となるのか。

→1回分については法人が負担している。

○業務報告書2ページ項番6①の苦情解決のための仕組みについて、苦情が無く、
相談が1件とのことだが、入所者及び家族を含めての件数なのか。

→入所者及び家族を含めての件数となる。

○相談はあまりないものなのか。相談は受けたが、それを記録していないといったことがないようにしてもらいたい。

→29年度は報告の1件になる。指摘の件については、施設側に伝える。

○業務報告書2ページ項番7①の現金の取扱いについて、法人の内部経理監査担当者による予告なしの監査を2回実施したとあるが、その内容は何か。

→29年度は、物品購入の手続が適切に行われているか、具体的には10万以上の物品購入は3者以上から見積書を徴しているかについて内部監査を実施した。監査の結果、指摘事項はなかった。

○物品購入以外は監査を行っていないのか。28年度の監査内容は何か。

→監査内容については毎年度変更しており、29年度は物品購入のみとなる。28年度は小口現金の取扱いが適切に行われているか、例えば金種別表を作成して現金と突合しているか等について監査を実施した。

○業務計画書3ページ項番8①の経費縮減のための方策について、給与規程において業務実績評価を導入されているが、評価方法及び適正な評価をする上で特に気を付けていることや課題はあるか。

→半期毎(4月、10月)に職員個々に目標を立て、目標の達成度評価を行っている。目標については、職員は入所者に寄り添ったケアを行う、資格を取得する等、管理職は入所率の上昇を図る等があるが、職員個人の目標と管理職の考えに違いが見られる場合があり、その調整が課題となっている。

○業務計画書5ページの委託実施計画について、宿直業務が新たに記載されているが、この内容は何か。

→現在の夜間体制は特養夜勤1名、特養・養護宿直1名を職員で行っているが、30年度からの特養増床により特養夜勤が2名必要となることから、特養夜勤は職員、特養・養護宿直1名は経費削減のためシルバー人材センターへの委託により対応したいとするもの。なお、現在、鶴寿園における特養宿直はシルバー人材センターへ委託している。

○業務計画書10ページの施設の利用計画について、4月に特養の定員が15名から29名になり、7月までに1か月ごとに2～4名増員となる計画となっているが、職員の確保ができれば、前倒しで入所人数を増やすことは可能か。可能でない場合は、受入れ体制上、他に課題があるのか。

→特養の入所者増については、職員の確保、すぐに入所したい待機者の減少や市内

における特養施設の増加等、様々な課題があるが、少しでも早く満床となるよう努めたい。

○特養の入所待機者について、施設への入所申込みをしているけれども、今すぐに入所したいという方が少なくないのか。

→そのような方もいるが、入所者増に当たっての課題は介護職員等の確保の面が大きいと考えている。

○業務計画書12ページの特別養護老人ホームの収支計画について、賃借料に軽自動車のリース料が計上されているが、車両のリースは何年で、リース期間満了後はどのような対応となるのか。

→車両のリース期間は5年間、期間満了後は再リースを予定している。指定管理者である社会福祉法人野田みどり会では、車両については購入ではなくリースにより対応していることから、リースと購入の比較は特に行ってはいない。

○経費節減の面から、予算の状況も踏まえて購入とリースの比較は必要ではないか。

→指摘の件については、施設側に伝える。

<審議の結果>

平成29年度(4月～12月)複合老人ホーム野田市楽寿園業務報告書及び平成30年度複合老人ホーム野田市楽寿園業務計画書について承認

② 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター

平成29年度(4月～12月)野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務報告書及び平成30年度野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務計画書の審査について

<事務局より平成29年度(4月～12月)野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務報告書及び平成30年度野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

○業務報告書9ページの事故、要望及び苦情対応状況について、項目1及び2のバスの関係で、風向きや音に注意して、駐車位置をずらすことは難しいのか〔①〕。Aさん宅前だけ、停車時にエンジン停止したとしても同様のことが起きてしまうのか〔②〕。バスは18人乗りのディーゼル車で、17～18年経過していることもあり、不具合が改善されないのであれば、更新計画にこだわらずに送迎バス

の在り方について検討した方が良いと思うがどうか [③]。

→①について、Aさんは要介護3であり歩行が不安定で、離れた場所での乗降が負担になることから、従来どおり自宅前停車が好ましい。②について、Aさん宅の前だけ停車時にエンジン停止したとしてもエンジンの原因になる。修理した業者からは、車輛の老朽化もあり、エンジンを停止することで再びこのような状況になる恐れがあると言われている。③について、次期指定管理の更新時期となる平成31年4月1日に併せて、車輛の更新について検討していきたい。

○今後も市が車輛を用意するかどうかについて検討するということか。

→街中では道路幅が狭いので大きなバスは支障があるという面、運転手の雇用、コストの面からも様々な課題があると思うので、検討していきたい。

○業務報告書13ページの収支状況報告の支出について、給食費の予算額136万9千円に対し、決算見込みが203万4,666円、66万5,666円増となった理由は何か。また、再委託費について、決算見込みが38万3千円増となっているが、5ページの委託実施状況のうち何が増の理由となったのか。

→給食費の決算見込み増額については、利用者数が予算比に対して増えたことで材料費も同じように増えており、天候不順による野菜の高騰も含まれる。再委託費の決算見込み増については、給食委託費の増が原因となる。29年度予算では28年度に対して減額としていたが、利用者増に伴い岩木小学校老人デイサービスセンターにかかる調理及び配膳時間が増えたことから、調理員1人では不足に2人体制で行う日もあり費用がかさんだ。その結果、法人内（複合老人ホーム野田市楽寿園、心身障がい者福祉作業所、岩木小学校老人デイサービスセンター）按分比の中で、当初より岩木小学校老人デイサービスセンターに多く負担がかかった。

○業務計画書2ページの①個人情報保護のための方策について、「自主的なルール及び管理体制を確立し」とあるが、その内容は何か。また、全職員への周知徹底は、どのように行っているのか。

→周知については、法人作成の「個人情報管理規程」にある基本方針を事業所内に掲示している。法人内では、毎年、報告会等の場で、法人役員から管理者等へ個人情報取扱いの注意が示された後、管理者が各職員へ個人情報管理規定について確認を行っている。

○業務計画書3ページの①管理経費縮減のための方策について、経営実態を職員に開示して、経費縮減を実施しているが、これまでの取組で30年度の事業計画に活かされているものがあるか。

→12ページの収支計画における支出「管理費・事業費・事務費」の「その他」で

は主に消耗品と燃料費が含まれる。そのうち消耗品について削減し、9万4千円減額できるよう予算措置している。購入方法の見直し、例えば通販などの利用で価格の安いところからの購入などで対応している。

○業務計画書6ページの委託実施計画について、29年度予算より増額となったことが反映されていると思うが、30年度はこの予算の範囲で大丈夫であると確認をしているか。

→現段階では、給食業務の委託については複合老人ホーム野田市楽寿園、心身障がい者福祉作業所、岩木小学校老人デイサービスセンターとの法人内按分で行っていることから、29年度の決算見込みと同額で考えており、問題ない。

<審議の結果>

平成29年度(4月～12月)野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務報告書及び平成30年度野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務計画書について承認

3 閉会